

## 平成 28 年度第 1 回学校評議員会記録

1 日 時 平成 28 年 6 月 2 日 (木) 10 : 00 ~ 11 : 00

2 場 所 会 議 室

3 出席者

(1) 学校評議員 (4 名)

A 評議員 (地域関係者)

B 評議員 (学識経験者)

C 評議員 (保護者)

D 評議員 (施設関係者)

《欠席 : E 評議員 (医療関係者) 》

(2) 本校職員 (11 名)

校長 副校長 2 名 事務長 小学部長 中学部長 高等部長 分教室主任

訪問教育部主任 生徒指導主事 進路指導主事

4 内 容

(1) 開会

(2) 校長挨拶

(3) 協議・報告

ア 平成 28 年度学校運営方針について (校長)

イ 平成 28 年度教育活動について (各学部主事・主任、進路指導主事)

- ・ 今年度の取組重点や児童生徒の様子について
- ・ 今年度の在籍児童の概要について
- ・ 卒業生の進路状況について

(4) 意見・提言

A 評議員 :

先日の運動会に参加させていただいた。「世代をつなぐ街づくり交流会」で児童生徒が考えた計画 (地域の方々に運動会に来てもらう) の実現に向け、熱心に取り組んでいただき感謝している。地域の方々も協力的でたくさん来てくださった。いろんなことを企画すれば子どもたちの力は伸びていくことをあらためて感じた。子どもたちの力をどう引き出していかは教員の力だと思う。アイデアを出して、子どもたちの潜在的な能力を引き上げるのが我々の仕事。今回も子どもたちの力を見せてもらった。

運動会は大成功だった。これを機会に松園地域の方々と繋がっていければと思う。地域には力を貸したいと思っている方々がたくさんいる。公民館が窓口になって地域に発信し、子どもたちの力を伸ばしていく手伝いができればと思っている。

B 評議員 :

合理的配慮の大切さを考えさせられた。もりおかこども分教室では、ICT 機器の活用等、コミュニケーションの幅を広げるために色々取り組んでいる。その取り組みを広めてほしい。

C評議員：

運動会をはじめて見たが、みんな元気でびっくりした。地域の方を呼ぶのもはじめてということで、支援学校の子どもたちはこんなに元気で頑張っているんだということを知っていただける良い機会だと思う。これからもぜひ地域と交流していただきたい。

D評議員：

運動会をとおして、一人一人に合った教育がなされていると実感した。超重症心身障がい児への配慮など、もりおかこども病院と連携し、盛岡青松支援学校だからできる教育をアピールして欲しい。高等部の生徒については、できることを見つけて、作業学習でも教材を工夫して学習を重ね、福祉的就労等その子に合った受け入れ先を見つけてほしい。ハイリスクな家庭も多いので、福祉、医療、教育と連携をお願いしたい。

(5) 閉会